

6月定例会

P7~11

9名が一般質問

委員会レポート

P4~6

- ・避難所の資機材や備蓄品の整備
- ・附帯決議を全会一致で可決

視察報告

P13

公共交通の充実に向けて **防府市**

議 論

山陽小野田市議会

vol.78 令和7年9月

市内中学校の生徒が
本議会傍聴・意見交換！

議場の雰囲気体験

中学生の視点を生かす

P2~3



厚陽中学校



厚狭中学校



埴生中学校



中学生が議会を傍聴！



6月6日に厚狭中学校、埴生中学校、厚陽中学校の生徒合わせて23名が、6月定例会の本会議を傍聴し、傍聴された生徒以外は各学校で中継をオンライン視聴しました。

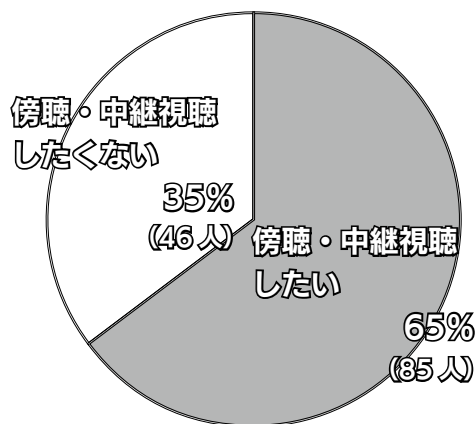
今年で3回目の取組みであり、市議会の活動を知ってもらい、興味や関心を持ってもらうことが目的で、市内6中学校を一巡しました。(1回目：高千帆中学校 2回目：小野田中学校、竜王中学校)

今回傍聴した一般質問「中学校部活動の地域展開への継続的・安定的な運営支援について」

アンケート調査

傍聴・中継視聴をされた中学校（厚狭・埴生・厚陽）の生徒対象

Q 今後も市議会傍聴・中継視聴を希望しますか。



感想

- ・部活動の地域移行について詳しく知ることができた
- ・未来に向けてよく考えようと思った
- ・いろいろなトラブルを予測して話し合っているんだと思った
- ・中学生にとってのメリットもたくさんあって、実際に傍聴してみて理解できた
- ・市議会の活動に関心がない

◆部活動の地域移行というテーマが中学生にとって身近なものであり、一般質問での議論に対する関心の高さがうかがえました。



本会議を傍聴された中学生と 意見交換会

各中学校で意見交換会を実施しました。

市議会を知っていましたか？

スマホでホームページを見ました。

両親から市議会があると教えてもらいました。

議場の雰囲気はどうでしたか？

とても緊張感があふれる場所だと思いました。

インスタグラムなど新しい広報活動も始めましたが中学生の視点ではどうですか？

そもそも知っている人が少ないと思うので、もっと目につくようにしたら、YouTubeなども試しに見てくれるのではないのでしょうか。生徒会からも伝えていきます。

議会傍聴を学校生活に生かすことができそうですか？

議長の仕切りを見習って生徒会運営や委員会の参考にして会議のやり方を改めたいです。

埴生でボランティア活動を盛り上げようと頑張っているので、今後は山陽小野田市全体の活動も考えていきたいです。

ご家族の方と議会傍聴について話をしましたか？

親は市議会に関心がありませんでしたが、今回の事前資料を渡したら身近なことをしてるんだねと言われました。

自由に傍聴できることを初めて知り、傍聴してみたいと話していました。

どうしたら議会に関心を持ってもらえると思いますか？

学校に議員が訪問して議会のことを話してもらって、子どもに合わせて親も興味が湧くのではないのでしょうか。

各学校で市議会のポスターを作ってコンクールをしたらよいと思います。学校にも張れると思います。

気づきがありましたか？

傍聴は思ったよりも楽しく、聞いていてためになりました。

市議会に関する授業が定期的であれば、もっと市議会や政治に関心を持ったり理解したりできるのかなと思いました。

中学生の視点や気づきは、議会にとって有意義なものが多かったです。今後の広報活動に生かしていきます。



意見交換会
埴生中学校



意見交換会
厚狭中学校



意見交換会
厚陽中学校

簡易トイレ、簡易ベット等資機材の配備

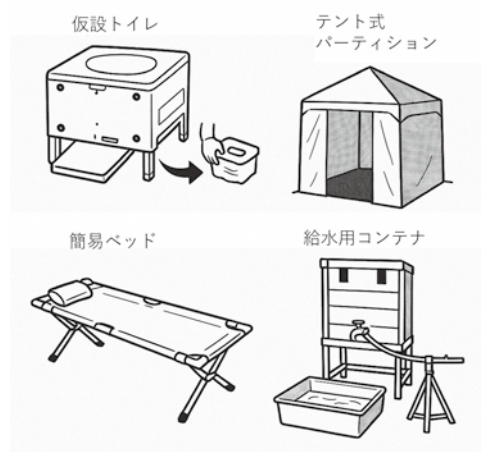
◎避難所等整備事業

概要 国は、能登半島地震の反省や、今後発生する可能性の高い南海トラフ巨大地震への対応強化の一つとして、各市町の避難所環境の改善を掲げており、新しい地方経済生活環境創生交付金（地域防災緊急整備型）を創設しました。あわせて、国が最低限必要とする災害用物資・資機材の備蓄量の基準を示したため、当該交付金を活用して、備蓄量の基準に達するよう年次的に災害用物資・資機材を購入するものです。なお、令和7年度は、仮設トイレ92台、簡易ベット358台、テント式パーティション372張、給水用コンテナ19基を購入します。

予算額 3956万9000円

主な質疑

- Q** 購入した物資はどこに置くのか。
- A** 市が直接管理している防災倉庫が市役所、厚狭地区複合施設、埴生地域交流センターにある。3カ所を中心に設置をしていく予定である。
- Q** 3カ所を中心にと言われたが、ほかの防災倉庫には置かないのか。
- A** 地域的特性を考えると北部に集中しているので、南部で空きスペース等がある施設を検討している。



令和7年度一般会計予算に対する附帯決議！

○避難所等整備事業について

このたび、国は最低限必要な災害用物資・資機材の備蓄量の基準を示したが、本市の備蓄量は当該基準に達していないこと及び市南部地区にはそれらを保管する防災倉庫がないことが明らかになった。

災害用物資・資機材の備蓄については5カ年計画で国の示す基準に達するよう購入していくという答弁はあったものの、激甚化する災害から市民の生命を守るためには災害用物資・資機材の早期購入が急務であり、また、当該物品を保管する防災倉庫の設置が不可欠である。

ついては、5カ年を待たずに災害用物資・資機材の備蓄量が国の示す基準に達するよう措置すること及び速やかに市南部地区に防災倉庫を設置することを強く求める。

小中学校の和式トイレを洋式化

●学校和式トイレ洋式化事業

概要 家庭では、洋式トイレが一般的になっており、和式トイレの使用に不慣れな小・中学生や和式トイレの使用が困難な避難住民等の負担軽減を図るため、トイレを順次洋式化するものです。令和6年度までは1年当たり12基を設置していましたが、どの学校も洋式化率が低いので、令和7年度は、小学校9校、中学校3校で一律2基ずつ、計24基を設置する計画としています。

予算額 888万円



洋式トイレ

主な質疑

- Q** 令和7年度はどこを、どの程度洋式化するのか。
- A** 小学校は有帆、高千帆、高泊、小野田、須恵、赤崎、本山、厚狭、出合を、中学校は高千帆、小野田、竜王を各2基ずつ行う予定である。
- Q** 洋式化率は何パーセントに到達するのか。
- A** 令和11年度には52.3%になる予定だが、各施設の老朽化と改修や建て替えも同時に考慮していく。
- Q** 洋式化率100%の学校もあるが一番低いのは14.9%である。格差についてはどう考えるのか。
- A** 学校で差があるがやむを得ない。令和12年度末の100%を目指して事業化に向けて努力したい。
- Q** 各学校の生徒数を考慮して洋式化すべきではないか。
- A** どの学校も洋式化率がとても低いので、一律で2基ずつ整備する。

～2項目を全会一致で可決～

○学校和式トイレ洋式化事業について

小中学校のトイレの洋式化率を令和11年度までに52.3%にする計画を進める中で、令和7年度は洋式化率が50%を下回る小中学校につき和式トイレを2基ずつ洋式化することが明らかになった。

学校施設の老朽化等も考慮しながら整備していることは承知しているが、本改修に当たっては、小規模校、大規模校という学校の特性も考慮しながら各学校につき実質的に平等に改修していく必要がある。

ついては、各小中学校の児童生徒数を考慮し、洋式トイレ1基辺りの児童生徒数に格差が生じないように事業を進めることを強く求める。

※附帯決議とは

議案を議決するに当たって、議会の希望意見として付すものをいいます。法的効力はありませんが、政治的に尊重されるべきものとされています。

委員会提出決議案第2号
をご覧ください
全文はこちらから↓



避難所備蓄品の充実へ

●避難所備蓄品整備事業

概要 令和7年1月9日に、内閣府より南海トラフ巨大地震に伴う地震および津波被害による想定最大避難者とこれに基づく必要な備蓄量が示されました。今回の事業は、この国の基準に達するように計画的に避難所備蓄品を購入し備蓄品の充実、避難所における良好な生活環境を確保するものです。想定避難者は1882人であり、食料品は年齢層毎にミルク、おかゆ、米、クラッカーの必要数3日間9食分を算出し、5年間で購入する計画です。生活用品として、毛布、成人用紙おむつ、乳幼児用紙おむつ、生理用品の必要数を購入する予定です。

予算額 330万5000円

主な質疑

- Q** 避難者想定が1882人だが、どういう根拠に基づいているのか。
- A** 山口県において別途地震と津波被害想定における避難者数の想定で本市は1615人と想定されていた。全県で2万2306人想定なので、案分して試算した。
- Q** 備蓄品の配置はどうするのか。
- A** 屋内避難場所として指定されている地域交流センターの室内、小中学校の施設内等に現在備蓄品を配置しており、拡充できるように努めたい。
- Q** 国の実態調査の結果を受けての市としての取組みはどうか。
- A** 特に食料品等については他市町と比べて少ない状況だった。このたび、国から基準が示されたので、その基準に達するように計画的に配備を進めていく。

江汐公園の外灯をLED化へ

●管理施設改修事業

概要 都市公園内にある管理施設について、長寿命化を図るための改修等を行うものです。令和7年度は、維持管理コストの軽減を図るため、江汐公園の外灯合計42基を水銀灯からLED化の改修工事と、浜河内緑地および東沖緑地のテニスコートの審判台のうち2台を経年劣化に伴い交換します。

予算額 2818万5000円



江汐公園の外灯

主な質疑

- Q** LED外灯工事は入札か。
- A** 工事請負の入札を予定している。
- Q** LED化での電気代の試算はどうか。
- A** 令和6年度に水銀灯からLED外灯に改修した須恵健康公園の電気代は、約3割軽減している。
- Q** 江汐公園ではトイレの改修工事の方が緊急性を要すると思われるが、なぜ外灯のLED化から始めるのか。
- A** 水銀灯の製造が令和3年から停止されている背景から外灯のLED化を優先して行っている。



よしながよしこ
吉永美子議員



ごみ出しの大変さを理解してほしい

【今回の一般質問】

- ・ごみ出し支援
- ・小中学校トイレ洋式化
- ・環境問題 など

Q ごみステーションの設置について、地域の実情に応じてもっと柔軟に対応できるよう、現在の関係戸数20戸の規定を改正できないか。また、以前、市に相談に訪れた自治会長に、再度相談するよう話してもよいのか。

A ごみステーションの設置基準を改める予定はないが、それぞれの地域で状況が異なるので、新設や移設の申出、相談があった場合は、現地を確認し、周辺状況、関係世帯の実情等を踏まえ、柔軟に対応していきたい。

Q 長門市は今年度から10戸の基準を廃止したと聞いているが、この取組みを本市はどう評価するか。

A 参考にはしているが、基準を下げる見直しとなると、現段階では課題があると認識している。

ごみ出しサービスの実施を

Q 独居の高齢者が増える現状を踏まえ、ごみ出しに苦慮する高齢者等に対するごみ回収サービスを提言するが、どう考えるか。

A 本市において、ごみ出しに困っておられる方のニーズや件数は分かっているので、ごみ出し支援についての必要性は感じている。県内では6市が実施しているので、既に制度を実施している近隣市の状況や制度の課題を解決するための調査と研究に努めていく。



中学部活動の地域展開の運営支援

【今回の一般質問】

- ・中学校部活動の地域展開

なかおかえいじ
中岡英二議員



Q 部活動の地域展開の具体的なスケジュールと進捗状況はどうか。

A 令和8年4月から休日の中学校部活動を廃止し、地域が主体となった地域クラブ活動を展開する。今年の5月には、地域クラブの設立に関わる地域クラブ運営ガイドラインを公表し、地域クラブ活動団体や指導者の募集を開始している。今後、多くの地域クラブが設立され、現行の学校部活動のうち、休日の活動は、令和8年4月から地域展開を図って、平日の部活動の移行は、それぞれの体制が整い次第、順次進めていく。

部活動がスムーズに地域展開へ

Q 地域クラブの設立要件の中に「費用負担を明確に示すこと」とあるが、金額は幾らか。

A 令和7年度は実証事業ということで、生徒1人当たりの負担は500円である。

Q 地域クラブ活動をするための経費を自治体で補助する考えはあるのか。

A 大会参加などの交通費は、現時点では従来どおり個人負担である。施設の使用料は、地域クラブの設立団体について、現在、学校施設の使用料を全額減免している。その他、スポーツ・文化施設・交流センター等の使用料は、減免できるよう調整中である。





3期目当選の市長の施政方針を問う

【今回の一般質問】

- ・市長の施政方針
- ・乳児等通園支援事業
- ・空家等活用促進活性化事業

財政は厳しい

Q 約18億円を取り崩した予算編成だが、市長の第二次山陽小野田市総合計画の集大成にあたり、財源の枯渇も余儀なくされ、今後の財政運営に禍根を残す施政方針になっていないか。

A 基金の取り崩しに頼らない予算編成ができればいいが、毎年、歳入予算の範囲内で予算編成を行うことは難しい状況である。長期的、恒常的に赤字が続くことがあってはならない。基金の効果的な活用等で安定した財政運用ができる環境を整えていく。

財政調整基金を取崩した予算編成

Q 基金を使わなければ予算が組めないことは、財源が乏しいことではないか。危機感があるのか。

A 基金を取り崩したことは危機感を持っている。人件費、物価高騰等、かなり厳しい状況にあり、今後も基金を活用した予算の編成が続いていくことになる。

Q 市長就任以来、人口減少に歯止めがかからず、約4600人減っている。基本計画最終年度である令和11年度の人口目標は5万8000人となっているが、すでに本年度で到達しており、人口増への取組みはあるのか。

A 一時的な交流人口でなく、継続的に本市の発展に貢献できる関係人口の創出により、人口減少の資源を補うことができる。



公共施設跡地対応結果の早期決定を

【今回の一般質問】

- ・活用しない市有財産の管理
- ・登下校の熱中症対策

Q 多くの市民が使用した旧小野田斎場は、適切に管理できているか。

A 雑草の草刈り、除草剤の散布、樹木の剪定や伐採などを行っているが、日頃、市民が立ち入る施設ではないため、適切な管理はできていない。斎場を利用された遺族の思いに配慮しながら、市民に迷惑がかからないよう、可能な限り適切な管理に努める。

Q 津布田小学校跡地は、適切に管理できているか。

A 体育館使用者の方には不快な思いをさせたので適正な管理ができていなかったと認識している。また、グラウンド等での不適切な使用をする方がいることは確認している。常時、人を配置していないので都度やめていただくよう指導している。しかしながら、結果として、まだ不適切な状況が続いているのが現状である。

増加する跡地の迅速な対応を！

Q 市有財産は、市民のための市民の財産であって、適切に管理運営されるべきである。利用目的が無くなり管理に費用のかかる施設は早期に方針を示すべきと考えるがどうか。

A 平成31年に市有財産活用検討委員会という全庁的に検討する仕組みをつくった。なかなか結果が出ていないのが現状である。



草木に覆われる旧小野田斎場

管理業務切迫



小野田駅前の歩道 整備と都市計画

【今回の一般質問】

- ・ J R小野田駅の諸課題
- ・ 小野田駅前の歩道の舗装
- ・ 市長の言う希望とは何か

凹凸のある歩道

Q J R小野田駅前の歩道にインターロッキングブロック舗装がされた経緯について問う。

A 現在のインターロッキングブロックに改修されたのは平成 20 年前後で、山口県が交通安全対策事業として、歩道のかさ下げとともに、透水性ブロックに全面改修した。

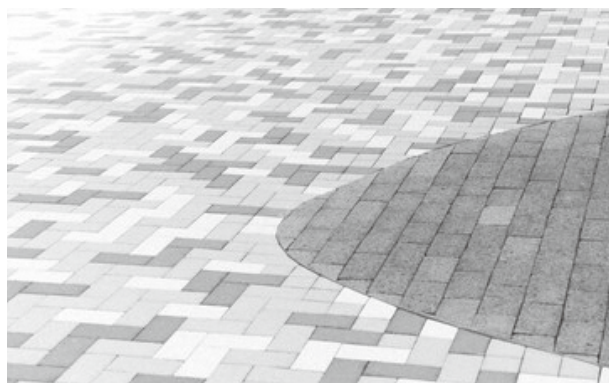
Q 平成 28 年から令和 2 年までに行われた小野田駅前再整備事業において、なぜこの歩道のインターロッキングブロックの是非は議論の俎上に乗らなかったのか。

A 県道の歩道については、市の都市再生整備事業の整備対象に含まれなかった。また、過去の事業説明会等の記録等も確認したが、県道のインターロッキングブロック舗装に関する地元からの意見や要望というのは確認できなかった。

危険度の順位付けをしては

Q 市職員が現場を確認時に緊急性と重大性にしっかり優先順位をつけ、その優先順位も含めて県に対応をお願いすべきではないか。

A 山口県は、直接県土木が補修するのではなく、維持管理の業務委託の範囲で業者に指示をしているので、その指示についてまで、はっきり分からないが、連絡があればすぐに事の大小にかかわらず県に苦情の連絡をしている。



景観環境防災などメリットも大きい



糸根公園・青年の 家の再整備計画

【今回の一般質問】

- ・ 藤田市長 3 期目の市政運営
- ・ 青年の家糸根公園の再整備
- ・ 防犯カメラの設置

Q 市は糸根公園・青年の家をどのように捉え、どのような方針で再整備を進めるのか。

A 交通の便が良く周辺施設との相乗効果が期待でき、高い潜在能力を秘めていると認識している。「スマイルエイジング」をコンセプトに、住民ワークショップで要望の多かった体育館を埴生消防署側に整備する案を基に検討を進める。令和 7 年度には国の補助制度活用に向けた費用対効果分析を行う。

地域住民にも喜ばれる施設へ

Q 再整備において地域住民の意向はどのように反映され、また、現在の整備案は住民に周知されているのか。

A 都市公園の整備には地域の事情やニーズを踏まえることが重要だと考える。現在具体的な方針はまだ住民に周知できていないので、費用対効果分析を進める中で、改めて地元への周知と意見聴取を行っていく予定である。

Q 老朽化に伴う事務所移転や、「糸根の松原」の管理・活用の対応は。

A 青年の家事務機能の移転は、応急的な対応である。再整備では管理棟の機能を確保しつつ、円滑な移行を目指す。「糸根の松原」は健康な状態を維持しつつ、公園と共生し親しまれるよう工夫して整備する。



管理棟玄関の屋根も崩れている状況



埴生の可能性

なかしまよしと
中島 好人 議員



災害援護資金未返納者へ救済支援を

【今回の一般質問】

- ・ 執行部の議会介入
- ・ 厚狭川水害被災者の救済
- ・ 国保窓口一部負担金の減免

生きる希望を

Q 15年前の平成22年7月10日から断続的な大雨が続き、15日には豪雨となり、甚大な被害をもたらした厚狭川水害において、災害援護資金利用者の状況はどうなっているか。

A 平成22年に発生した厚狭川水害における災害援護資金の貸付状況は、18人に対して総額2537万8000円である。返済未納者が6人であり、利子分を含めて547万1500円で元金の20%が未納となっている。

Q なぜ滞納となっているか。その原因について把握しているか。

A 他の借金の返済がある方や年金の収入のみで返済が難しいなどと聞いている。一人一人の状況により、分納相談に応じているので、返済可能な範囲で分納をしていただいている。

被災者に寄り添った温かい政治を

Q 地方公共団体の債権免除について最終支払いの期日から10年経過した後において無資力等である場合、市が免除できる規定もある。滞納者に対して返済額の免除や減額、融資など支援をしてはどうか。

A 返納が難しい方には分納相談に応じている。猶予や免除等の支援が必要な方には、法律の定める範囲内で対応していく。



やまだのぶゆき
山田 伸幸 議員



小中学校体育館こそ空調設備設置を

【今回の一般質問】

- ・ 小中学校体育館に空調設備
- ・ 運転免許証返納者
- ・ 物価高対応

Q 山口県は、菊川断層を震源とする大規模地震の恐れがあり、さらに南海トラフを震源とする大規模地震は高い確率で発生することから注意を呼びかけている。国は南海トラフ大規模大規模災害に備えて、西日本の多くの自治体の小中学校体育館に空調設備の設置を求めているが、市長はどのように考えているのか。

A 大規模災害に着目しての小中学校体育館への空調設備設置は考えていない。

Q 国は大規模災害に備えて、さまざまな補助金を用意していて地方自治体の負担が25%程度になる。この補助金を活用して空調設備を設置してはどうか。

A 補助金などは承知しているが、災害に着目して小中学校体育館に空調を整備する考えは持っていない。

空調設置目標 95%を無視

Q 政府は防災担当大臣が直々に記者会見を開き、全国の自治体に補助金を活用して全国の小中学校体育館の空調設備設置率を95%に引き上げるように呼びかけているが、本市はこの呼びかけに答える気はないということか。

A 災害に対してさまざまな補助金があることは承知しているが、小中学校の体育館を避難所として、空調設備を設置する考えを持っていない。



エアコン設置



小野田霊園を含め 無縁墓の対策

【今回の一般質問】

- ・引き取り手のない無縁墓
- ・災害対応体制での初動段階

合祀墓の設置要望

Q 本市において亡くなられた後、引き取り手のない「無縁遺体」はどのくらいあるか。

A 本市において、墓地・埋葬等に関する法律により火葬した無縁遺体の件数は、ここ3年の状況で、令和4年度が7件、令和5年度が4件、令和6年度が4件となっている。

Q 小野田霊園における返還数、改葬数、また使用率はどうなっているのか。

A 返還数は、令和4年度が25件、令和5年度が37件、令和6年度が34件であり、改葬数は、令和4年度が71件、令和5年度が97件、令和6年度が105件である。令和6年度末現在の小野田霊園の使用率は95.3%となっている。

小野田霊園に合祀墓・合葬墓の設置

Q 南中川墓地にある、市の無縁仏碑、裏にある納骨堂の問題もある。親族らによる引き取り手のない無縁遺骨の問題が大きな課題となっている。無縁遺骨が増えている中で、小野田霊園にある旧火葬場の跡地に、合祀墓、合葬墓の設置が必要ではないか。

A 新たな合祀墓、合葬墓の設置については、地域の埋葬ニーズの多様化に応えるための一つの手法であるとは考えるが、現在は計画していない。



小野田霊園の旧火葬場近辺

令和7年度山陽小野田市 防災パトロール

集中豪雨などによる災害の発生が懸念される梅雨時期を前に、市内の防災機関が合同で農業用ため池における防災・減災対策、防災気象情報システムを把握し、被害の防止と応急措置の適切な実施を図ることを目的に実施されました。

【場所】 沖部下ため池、刈屋漁港



刈屋漁港の防災スピーカー

第13回防災フォーラム IN 山陽小野田

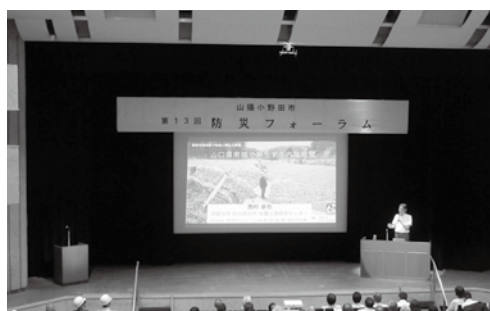
講演テーマ

「山口県南部で発生する内陸地震

ー菊川・周防灘断層地震に備えてー」

講師 京都大学教授 西村 卓也 氏

日本では人工衛星を用いたGNSS観測網が展開されています。GNSS観測網は地震の長期予測に役立つものもあり、本市近辺には菊川断層の歪みによる地震の危険度も指摘されていることから、データ分析の重要性を改めて学びました。



市議会モニター委嘱終了式を開催

市議会モニターは令和7年6月末をもって3年の委嘱期間を終了するため、その委嘱終了式を6月30日に開催しました。終了式では議長から各市議会モニターの皆さんへ感謝状を手渡し、感謝の意を示しました。

市議会モニターは市議会の活動及び運営に関し、市民等から意見を広く聴取し、反映させることにより、市民とともに歩み、市民からより信頼される議会となるために設置されたものです。

市議会モニターの皆さんからは、この間多くの意見を頂き、傍聴しているからこそ気付く指摘も多くあり、改善できるところは改善してきました。

市議会モニターの皆さん、3年もの長い期間ご協力をいただきありがとうございました。



今期最後

議会報告会
&
意見交換会

議会カフェに 55 人が参加！

議会カフェを7月29日(水)にAスクエア、不二輸送機ホールの2カ所で開催しました。このたびは、今期最後の議会カフェでもあるため、通常よりも30分延長して行い、議会でどんなことが話し合われたのかを報告し、皆さんの生活に関わりのあること等、いろいろなお考えを聞かせていただきました。

主な報告内容

- ◇避難所への簡易トイレ、簡易ベッド等の配備
- ◇小中学校の和式トイレを洋式化
- ◇避難所備蓄品整備事業
- ◇糸根公園整備の費用対効果を分析
- ◇江汐公園の外灯を改修



今後に向けて参加者の感想

- ・いろいろな意見が聞けて有意義な時間を過ごすことができた。また機会があれば、ぜひ参加したい。
- ・意見交換会では話が分かりやすく、意見も言いやすかった。
- ・意見交換会の時間が長い方が良い。
- ・夏場は午前中の方が参加しやすい。
- ・各テーブルの間隔が広くとれていて、隣の声が気にならず話ができ良かった。
- ・会場は駐車場が広い所が良い。
- ・地域交流センターで開催してもらえると、近くのお年寄りが参加しやすい。
- ・今後も議会カフェを続けてほしい。参加したいと思う。

視察報告 政策提案特別委員会

■所属議員 大井淳一郎、中岡英二、伊場勇、笹木慶之、山田伸幸、吉永美子

■視察日 令和7年5月21日

■視察場所 防府市

■テーマ バス・タクシー運転士就職奨励金、高齢者バス・タクシー運賃助成制度

議会カフェ等で市民から公共交通の充実について要望を受けることがありますが、本市は公共交通の担い手となる運転士が不足している、高齢者等の移動支援に対する施策が不十分などの課題を抱えています。そこで、これらの課題解決に取り組んでいる防府市を視察してきました。

防府市は、運転士不足の改善のため「バス運転士就職奨励金」として、交通事業者により新規で雇用された方に対し、1人当たり20万円を支給しています。また、高齢者等が移動しやすい環境を創出するため、「高齢者バス・タクシー運賃助成制度」において、路線バス・タクシーのどちらにも使用できる助成券（年48枚）と路線バスのみを使用できる助成券（年96枚）のいずれかを選択し助成しています。

本市においても、公共交通の役割は公益性を有し、高齢者等の移動支援の必要性はあります。議会の合意形成を図ることができれば、政策提言の項目に挙げていきます。



◎賛否の分かれた議案の議決結果



←全議案（17件）の審議結果は、ホームページに掲載しています。

令和7年6月定例会		議決結果	議員名															
			伊場勇	大井淳一郎	岡山明	奥良秀	笹木慶之	白井健一郎	恒松恵子	中岡英二	中島好行	中村博政	福田勝美	古岡和恵	前田浩司	松尾数則	宮本政志	森山喜久
山陽小野田市副市長の選任について		同意	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度山陽小野田市一般会計補正予算（第2回）について	修正案	否決	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	—	○	×
	原案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	—	○	×

○：賛成 ×：反対 —：棄権または欠席

高松秀樹議員は議長であるため賛否の結果はありません。

◎山口県市議会議員研修会が オンラインで行われました

- 日時 令和7年8月7日(木)
- 講師 弁護士・小松島市法務監 中村健人氏
- 講演内容
地方議会のコンプライアンス・ハラスメント

ハラスメント防止はコンプライアンスの一環である

地方議会におけるコンプライアンスとは？

議会活動が法律や条例、規則、倫理的な規範に適合している状態

地方議会におけるコンプライアンスの特殊性

議員は法令遵守だけでなく倫理（道徳）の遵守が求められる

憲法を含む法令遵守＋住民全体への奉仕
＝住民福祉の増進



ハラスメントには、パワハラ、セクハラなどたくさんの種類がありますが、今回は、議会活動や議員活動に最も関わりのあるパワハラについて学びました。

近年、地方議会におけるハラスメント対策として条例制定の動きが広がっています。本市議会においても、市民の代表として高い倫理観をもってハラスメントの根絶と未然防止に努めてまいります。

お知らせ

9月定例会会期日程(予定)

会期中の日程

会期日程は、諸事情により変更される場合があります。ご了承ください。

月 日	内容
8月25日(月)	本会議(初日)
8月26日(火)	2委員会・分科会
8月27日(水)	2委員会・分科会
8月28日(木)	2委員会・分科会
9月1日(月)	一般質問
9月2日(火)	一般質問
9月8日(月)	一般会計全体会
9月10日(水)	本会議(最終日)

編集室より



▼10月9日をもって、議員の任期が終わります。この期間、高松議長のもと、チーム市議会の議会広報担当委員会として、中学生の議会傍聴や、Instagramの動画発信など、試行錯誤しながら取り組んでまいりました。また、今号の特集記事、中学生の意見は議会にとって新しい視点となりました。議会だよりの編集方針は「中学生に理解できる」が基本です。議会広報のさらなる充実に向けて、情報技術の発達を踏まえた多様な広報手段を活用しながら、議会で行われた議論や質疑を市民の皆様に分かりやすくそして、さまざまな広報手段でこれからも届けてまいります。

(広報特別委員会一同)

発行 山陽小野田市議会／編集 広報特別委員会

〒756-8601 山陽小野田市日の出一丁目1番1号

☎82-1182

ホームページ <https://www.city.sanyo-onoda.lg.jp/site/sigikai/>

発行日 令和7年9月1日



市議会



市議会



市議会



市議会

ホームページ フェイスブック インスタグラム ユーチューブ

※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。